

## 競合するソフトウェア

以下のソフトウェアは、リカバリー王Zと同環境で動作させることができない製品です。

### 1. デフラグを行うソフト全般

リカバリー王Zの修復対象となっているパーティションに対して、デフラグを実行すると異常が発生します。デフラグを実行する場合には、「制限事項」-「1. ディスクの最適化(デフラグ)」に示す手順にて実行してください。



「制限事項」-「1. ディスクの最適化(デフラグ)」(P.16)をご参照ください。

### 2. ディスク修復を行うソフト全般

リカバリー王Zの修復対象となっているパーティションに対して、ディスクを修復するソフトを実行すると異常が発生します。ディスクを修復するソフトを実行する場合は、「制限事項」の「2. チェックディスク」に示す手順にて実行してください。



「制限事項」-「2. チェックディスク」(P.16)をご参照ください。

### 3. パーティション変更ソフト

リカバリー王Zの修復対象領域として設定されているパーティションに対して、パーティションを変更するソフトにて領域の変更等を行った場合は、Windows システムに異常が発生することがあります。※Partition Manager、PartitionMagicなどのソフトがあります。

### 4. ディスク暗号化ソフト

ディスク暗号化ソフトをインストールした環境にリカバリー王Zをインストールした場合には、暗号化ソフトまたはリカバリー王Zが正しく動作しない可能性があります。またOSが起動しなくなる可能性もあります。

### 5. USNジャーナルを利用したソフト

USNジャーナルを利用したソフトやOSの機能は、ファイル・フォルダ単位の修復モード時に正しく動作しない場合があります。(例: Windows 8のフォトアプリ)

### 6. StandbyDisk (ネットジャパン社製)

管理方法(保護タイプ)がパーティション単位の環境の場合、レスキュー起動後OSが再起動されレスキュー指示自体がリカバリー王Zによって復元されてしまいます。Rescue Bootは実行されますが、リカバリー王Zの修復機能が動作しなくなります。ファイル・フォルダ単位の環境の場合、リカバリー王Zインストール後に再起動を繰り返し動作しなくなります。

### 7. VMware Workstation (VMware社製)

VMwareの仮想マシンは、仮想ディスクのファイルサイズが数GBから数十GBとなり、一般のファイルと比較してサイズが非常に大きくなります。このため、これらのファイルがリカバリー王Zの修復対象になっている場合、VMwareの仮想マシンの起動が遅くなる場合があります。この場合は、VMwareの仮想マシンのフォルダを修復対象外に設定しておき、ゲストOSの修復はVMwareのスナップショット機能を利用ください。なお、この現象は保護タイプがファイル・フォルダで運用している場合のみ発生し、パーティションでは発生しません。

### 8. HP Backup & Recovery Manager / HP Recovery Manager (ヒューレット・パッカード社製)

HP Backup & Recovery Manager またはHP Recovery ManagerがインストールされているPCにリカバリー王Zクライアントをインストールすると瞬間復元機能が動作しません。これらのソフトをアンインストールしてからリカバリー王Zクライアントをインストールしてください。

### 9. Rescue and Recovery / Rapid Restore Ultra (レノボ社製)

Rescue and RecoveryおよびRapid Restore UltraがインストールされているPCにリカバリー王Zクライアントをインストールすると瞬間復元機能が動作しません。これらのソフトをアンインストールしてからリカバリー王Zクライアントをインストールしてください。

### 10. USB 接続セキュリティーキー UCLEF III (型番:PUS-UCL3) (プリンストンテクノロジー社製)

PUS-UCL3がインストールされているPCにリカバリー王Zクライアントをインストールし「修復モード」への切り替えを行った場合、OSの起動ができなくなります。このソフトをアンインストールしてからリカバリー王Zをインストールしてください。

### 11. エクセル統計 (社会情報サービス社製)

エクセル統計がインストールされているPCにリカバリー王Zクライアントをインストールし、ファイル・フォルダの「修復モード」でエクセルを起動すると、エラーメッセージが表示されエクセル統計が正常に動作しません。次のファイルを修復対象外にすると、問題を回避できます。

Excel 2007 : C:\Program Files\Microsoft Office\OFFICE12\XLSTART\SSRIXT.xla

## 12. Vectorworks(エーアンドエー社製)

VectorworksがインストールされているPCにリカバリー王Zクライアントをインストールし、管理方法(保護タイプ)がファイル・フォルダ単位の「修復モード」の場合に、Vectorworks を起動するとツールパレットのアイコンが正しく表示されない場合があります。VectorworksがインストールされているフォルダのPlug-Ins フォルダを修復対象外にすると、問題を回避できます。

## 13. Intel Rapid Start Technology(インテル社製)

Intel Rapid Start Technology がインストールされている PC にリカバリー王 Z クライアントをインストールし、「修復モード」もしくは「修復保留モード」に変更しようとする、PC のシャットダウンに 5 分程度、黒い画面のまま待たされる現象が発生する場合があります。この現象が発生する場合は、Intel Rapid Start Technology をアンインストールすると、現象を回避できます。

## 14. SuperMap GIS(日本スーパーマップ株式会社製)

リカバリー王Zクライアントがファイル・フォルダ単位の修復モードにて動作しているPCで、SuperMap GISよりワークスペースの作成を行った場合、保存したファイルがフォルダ内に表示されない場合があります。この場合、F5 キーを押すことでファイルは表示されます。

## 15. Mastercam(株式会社ゼネテック製)

リカバリー王Zクライアントがファイル・フォルダ単位の修復モードにて動作しているPCで、Mastercamよりファイルの保存を行った場合、保存したファイルがフォルダ内に表示されない場合があります。この場合でもF5キーを押すことでファイルは表示されます。また、全角英小文字を含むフォルダへファイルを保存した場合、正しくファイルが保存されません。この場合、全角英小文字を含まないフォルダ、または修復対象外のフォルダへ保存してください。

## 16. EMBASSY Security Center(Wave Systems社製)

EMBASSY Security CenterがインストールされているPCにリカバリー王Zクライアントをインストールし、ファイル・フォルダ単位の修復モードに設定すると、STOPエラーが発生する場合があります。この場合、EMBASSY Security Centerをアンインストールしてからリカバリー王Zクライアントをインストールしてください。

## 17. SkyDrive(Microsoft社製)

リカバリー王Zクライアントが修復モードの状態では、SkyDrive(Microsoft社が提供するオンラインストレージ)のデスクトップアプリ等、SkyDrive対応アプリは正常動作しません。

## 18. ワークフォルダー(Microsoft社製)

Windows Server 2012 R2の[ファイル・サービスと記憶域サービス]に追加された[ワークフォルダー]の機能に対し、修復モードのリカバリー王ZクライアントPCからは利用できません。

## 19. RapidBoot HDD Accelerator(Lenovo社製)

RapidBoot HDD Accelerator がインストールされている PC にリカバリー王 Z クライアント機能をインストールし、ファイル・フォルダ単位の修復モードに設定すると、瞬間復元機能が正常に動作しません。RapidBoot HDDAccelerator はアンインストールしてからリカバリー王 Z クライアント機能をインストールしてください。

## 20. 定期的なアクティベーションを必要とするソフト

クラウド製品等、定期的なアクティベーションを必要とするソフトを利用する場合、リカバリー王 Z を一旦、保護解除モードに変更してからアクティベーションを実施する等の対処を取ってください。